

ひまわり

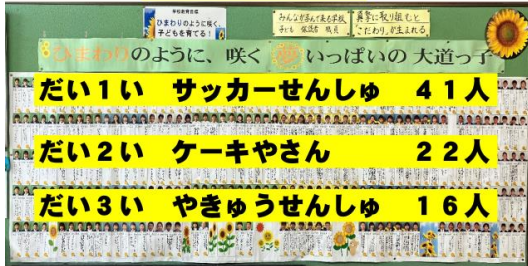
【学校教育目標】

ひまわりのように咲く子どもを育てる
創る（ひまわり5）

令和5年度 大道小学校
第5号 7月18日
文責 荒平 真寿美

7月は「自分をよくするために時間を使う」に向けて頑張りました

しょうらいの ゆめ

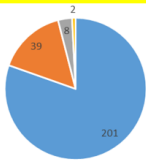


7月の全校集会では、まず、将来の夢やひまわりアンケートについての話をしました。

将来の夢1番人気は、サッカー選手でした。本校出身の河原創選手がプロサッカーリーグで活躍していることも子どもたちに大きな夢を与えていることでしょう。子ども達に夢を目標としてしっかり持たせることで、日々の取組が充実してくると思います。まず、近い5年後の自分を見据えて頑張っていて欲しいですね。

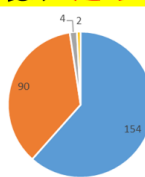


うんどうかいは、じぶんがまんぞくするものでしたか



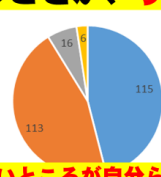
本気で、がんばれた

がっこうは、たのしいですか



友だちと笑ったり、お話する日々が楽しい。

じぶんのことが、好きですか



何でもできないところが自分らしくていいし、自分にしかできないこともあるので、本当に自分らしくてよい。毎回何かある度に思います。

ひまわりアンケートは上記3項目、①運動会は満足するものだったか②学校は楽しいか③自分のことが好きかについて尋ねてみました。①については「行事が子どもを育てる」まさにその通りで、頑張って成長した自分に満足している子どもがほとんどでした。②については、友達との関わりの楽しさを理由に挙げた子どもが多く、人との関わりの中で成長していることが分かりました。③については、自尊心の高まりを見たものですが、ありのままの自分を受け入れている回答もあり、大変嬉しく思いました。「校長先生も何でもパッパとできないけれど、みんなを元気にすることは得意。」と話して聞かせると、「そうそう」って子ども達が言うてくれて、私がかえって元気づけられるほどでした。自分のことを好きと答えられなかった理由として、勉強が苦手と書いていた子どももいましたので、基礎学力向上に向けてはこれからもしっかり取り組んでいきます。

7月は、1学期まとめの時期ですので、「自分をよくするために時間を使う」を目標にしました。心・学力・体、それぞれに頑張る姿が見られ、よいまとめの7月となりました。

安田知博さんによる「人権講話」

7月7日（金）に、4・5・6年生に人権講話を行いました。講師は、尺八奏者の安田知博さんです。安田さんは、現在は京都市在住ですが、出身は山鹿市で、先天的に視覚に障がいのある方です。人権講話では、視覚障害に関することばかりでなく、多くの事例を取り上げ、子ども達に話し合わせながら、答えを導いていかれました。答えは一つではなく、その場で話し合っって一番よい方法を見つけていくこと、それが大切。そして、「同じ人がずっと我慢しているのはだめ」「そのことに周りの人が気づいていなかったら大問題」とおっしゃって、その言葉が、すっと自分の心の中に落ちていくのが分かりました。きっと、子ども達も私と同じ気持ちだったと思います。あいにくの大雨で、安田さんにも大変申し訳なく思う状態でしたが、子ども達は本当に真剣に1時間ずっと集中していました。私と同じように、安田さんの言葉が心に刻まれていたことでしょう。最後に、6年生の音楽教科書で紹介される「春の海」を演奏していただきました。雨の音をも圧倒する魅力的な音色で、もっと聞きたいと思うほどでした。いいお話といい音楽のプレゼントを頂き、大変幸せな時間でした。



子どもたちの成長がたくさん見られた1学期でした

1学期、子どもたちは、よく遊び、よく学んで充実した日々を過ごすことができました。子どもたちのよい行動を価値づけ、個性を伸ばしたいと取り組んだ1学期でした。「校長先生」と呼んで、発見したこと、経験したことなどたくさん話してくれました。子どもの成長がうれしい1学期でした。最後になりましたが、子ども達が元気に学校生活を送ることができましたのも、保護者や地域の皆様の支えがあってこそ、本当にありがとうございました。夏休みは、39日間です。2学期も、元気な子どもたちに会えるのを楽しみに待っています。